

入曽地区中学校統廃合検討協議会第7回会議録

- ・開催日時 平成24年3月21日（水） 午後6時30分～午後7時30分
- ・開催場所 入曽公民館3階ホール
- ・出席者 17名（うち代理2名） ※欠席者2名
- ・事務局 生涯学習部次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
- ・傍聴者 9名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）部会の委員構成について

（事務局） —— 配付資料説明（略） ——

（委員）学区部会に入る予定の自治会の代表者というのは、自治会長のことですか。

（事務局）基本的には自治会長さんをお願いしたいと考えています。

（委員）この先、他にも部会ができるのかは分かりませんが、部会というのは27名の本協議会委員の中から選ばれるということですか。

（事務局）部会は、会長が指名する委員すなわち本協議会の委員と、別に新たに教育委員会で委嘱をした委員とで構成したいと考えています。

（委員）保護者の代表者については、PTAの会長や副会長以外の人が入る余地はあるのですか。例えば、PTAとは別に「入間中統廃合検討委員会」というのをつくって話し合いをしているのですが、そういったメンバーでも、この会議に入ることはできるのですか。

(事務局) この検討協議会で協議した内容は、保護者の皆様に流して周知してもらい必要がありますので、そういった任意の組織からではなく、やはり PTA からの代表者が相応しいと考えています。

(議長) 何かご意見があれば、PTA の会長など代表者に伝えていただければよろしいかと思うのですが…。この会議は個人として出席していただいているわけではありませんので。

(委員) これで新たな委員は決まりましたが、今後の予定はどうなりますか。

(事務局) 次回の本協議会につきましては、学区部会で、ある程度意見がまとまった後、開催ということになります。
学区部会の開催につきましては、役員改選後ですので、5 月末頃になるかと思います。

(委員) 新しい委員は今までの検討の経緯が分かりませんので、その辺は会議の前に説明しておいていただければと思います。

(事務局) はい。

(議長) 会議の開催スケジュールなどを提示していただければ、分かりやすいかもしれませんね。

それでは、部会の委員構成については、これでよろしいでしょうか。

《委員から反対の声は無し》

(2) その他 (説明会報告)

・入間中・南小 PTA 説明会

日 時 平成 24 年 3 月 13 日 (火) 午後 1:30～午後 4:15
場 所 水野公民館
出席者 約 60 名

・自治会への説明 (入曽地区自治会連合会定例会)

日 時 平成 24 年 3 月 17 日 (土) 午後 7:30～
場 所 入曽公民館
出席者 25 名

(委員) 今後の会議がどういう形で進んでいくのかは分かりませんが、入曽幼稚園と入間小と 2 回統廃合を経験している子どもが精神的にダメージを受けているということを、委員の皆さんには解ってもらいたいです。とても辛いことなので、その辺はお含みください。

(議長) もちろん、そういったダメージを極力抑えることが私たちの役目だと思います。

(委員) 教育委員会は、以前に入間小の保護者説明会で、2 度も統廃合を経験させるようなことはしませんと話をしてくれました。それを受けて、泣く泣く今回の入間小の統廃合を受け入れた保護者もいます。子どもにもそういうふうに説明しているのに、またすぐに統廃合ということになったら、改めて子どもに話をしなければなりません。そういった約束が教育委員会からあったということは、皆さんご存知なのですか。

(議長) いいえ、それは聞いていません。

(委員) そんなふうに子どもに説明した親の気持ちを汲んでいただいた上で、皆さんが入間中の統廃合を決めたというのであればいいのですが…。今の 5 年生は入間小だけではなく入曽幼稚園の統廃合も経験していますし、同じ子どもが、なんで何度も辛い思いをしなければならないのでしょうか。これも少子化だから仕方がないってことですか。入間中の人数だって、極端に減るわけではないですよ。

(事務局) この統廃合は、教育委員会が決めた基本方針に沿って進めています。12～18 学級という適正規模を踏まえますと、やはり入曽地区の中学校は 3 校すべてが小規模校ですので、そういったことを踏まえて統廃合の検討をお願いいただいているというのが現実です。

(議長) 私は入間中も山王中も入間野中も全て経験していますが、設備面でいえば、やはり入間中は教室もグラウンドも狭いです。統廃合を進めたいという教育委員会からの話を受けて、私自身、この機会しかないと思って、入間中の統廃合という方向で意見を述べさせていただきました。委員の皆様にも、実際に三つの学校を見比べてもらえれば分かると思うのですが…。

(委員) ただ、なぜ 2 度統廃合を経験させないという約束が駄目になったのか、教育委員会から、そのことについての説明は何もありません。未だ受けていません。そういった説明が保護者に対して何もない中で、早ければ平成 26 年には統廃合するという資料が出たので、もう統廃合は経験しなくていいと思っていた親はびっくりしてしまったわけです。駄目になったら駄目になったで、しっかり説明してほしいし、今後も約束が守られないのであれば、親としては何を信用していいのか分かりません。

(事務局) 先日開催した説明会でも、複数の保護者の皆様から、そういったご指摘を受けました。その件につきましては、誠に申し訳ありませんでしたということで、説明会の際に保護者の皆様の前で話をさせていただきました。

2 度統廃合を経験させることについては、市議会でも質問を受けました。質問に対し、市としては、「学校の統廃合は、学校の規模と配置の適正化を図り、児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的に実施するものであることから、必要性に応じて児童に 2 度の統廃合を経験させるようなことが生じても、やむを得ないと考えています。むしろ、統廃合して良かったといえる教育環境をつくることが重要であり、また、統廃合を通じて、児童生徒に新たな出会いや人間関係を広げる機会を増やしたり、切磋琢磨しようとする意欲を高めたりするなど、人として成長していくことのプラス面を考えることの方が重要と考えています。」と答弁しています。さらに「児童に 2 度統廃合を経験させないことに固執することなく、プラス面に視点を置いて考えることも必要であると考えています。」と答弁しています。

以上が、市議会という正式な場で答弁した市の組織としての考えです。

(委員) それは約束をした後に答弁しているということですか。

(事務局) はい、平成 23 年 3 月議会での答弁です。

(委員) 私自身は小学校のときに空襲で家を焼かれ、その後は親せきの家を転々とし、そのたびに学校も変わりました。ですから、また学校が変わるのかという話ですが、その気持ちはよく解ります。しかし、そう

いった諸々も含めたうえで、今まで6回の会議を重ねてきましたが、やはり統廃合が必要との結論を私たちとしては出したわけです。ただ、今思えば、いろいろな経験ができたのは良かったと思うし、やはり子どもは、なるべく多くの友達の中で学校生活を過ごした方がいいし、野球部やサッカー部がないというのも不幸せなことだと思います。勉強だけではなく、友達との経験、社会経験は大事です。

何をやるにしてもプラス面とマイナス面はあると思いますが、私たちとしては、統廃合して適正規模を確保する方がプラス面は大きいと判断したわけです。

(委員) それは解ります。ただ、幼稚園、小学校、中学校と、統廃合する間隔が短すぎますよね。入間小から南小に行って、まだ馴染めない子もいるというのに…。不安を抱いている親が多い中で、こんなに早く次々と統廃合を行うのはどうなのかと…。教育実習で母校に戻りたくても戻れないですよ。

(事務局) 非常に生徒の数が減った時点で統廃合の検討を始めるのではなく、今後生徒数の減少が見込まれる中では、今のうちから統廃合に向けて準備を進めるというのが教育委員会としての考えです。

(議長) 教育設備の観点からいえば、入間中よりも山王中や入間野中の方が整備されていますので、より良い教育環境の中で学校生活を送れると思います。

人間は紆余曲折しながら成長していくものです。嘆くだけでなく、前向きに捉えるということも必要ですし、子どもたちのために、より良い教育環境を整えるのは大人の責任なのかなと思います。

(委員) 若葉台では今、新しい家がどんどん建っています。その方たちは、小学校や中学校が家からどの位の距離にあるかをよく考えたうえで入ってきていると思います。入間中が今の所にあるから入ってきた人もいると思いますし、ここで入間中をなくしてしまったら、若葉台にしる、武蔵にしる、どんどん衰退していってしまうのではないのでしょうか。子育てする仲間もいなくなってしまうし、これでは逆に少子化を呼んでしまっているのではないかと思います。

(事務局) 最後に確認です。本日の資料もホームページに掲載させていただきます。

ますが、新たに予定している部会委員の方々には、現時点で何も話をしておりません。部会の委員構成の資料につきましては、ここでホームページに出しますと誤解を招く恐れもありますので、了解を得られた時点で出させていただければと考えております。

もし了解を得られずに断れた場合は、如何いたしましょうか。

(委員) その時は、自治会長さんなりの責任で決めてもらえばいいと思いますが…。

(事務局) 断れた際、また改めて皆様から承認を得るというのは難しいですので、その際は会長と事務局との間で決めさせていただくということによろしいでしょうか。

《「異議なし」の声あり》

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第6回会議録
- ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会学区部会の委員構成 (案)
- ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の委員構成
- ◆ 入曽地区連合会区分図
- ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について